

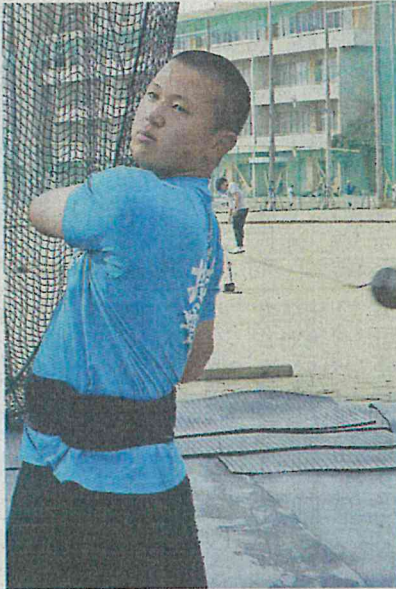
陸上投てきの強豪・生光学園  
高陸上部に女子砲丸投げの中学  
チャンピオン、山口嘉夢(かの  
ん、写真右)=15=と、男子ハン  
マー投げの中学記録を持つ木  
村海惺(かいせい、同左)=15

## 生光学園高

二の新星2人が加入する。2人とも1年生ながら、今夏徳島で開かれる全国高校総体(インターハイ)出場が期待されており、上位入賞を目指して練習に打ち込んでいる。

# 投てき陣 男女新星

男子ハンマー  
中学記録更新  
木村海惺



大阪市出身の山口は168センチ、64キ。地元の墨江丘中陸上部1年時に顧問から勧められて砲丸投げを始めた。自分に適性があるのか当初は半信半疑だったが、練習するうち



女子砲丸全中V  
山口嘉夢

## 総体決勝進出目指す

試合通じ技術高める

175センチ、86キの木村は生光学園中出身。1年時から砲丸投げに取り組み、アテネ五輪金メダリストの室伏広治氏への憧れから、3年秋にハンマー投げに転向した。最初は「ハンマーをうまく飛ばせず、

大阪桐蔭高など地元強豪校への進学も検討していたが、一選手のレベルが高く自分の技術も向上できると感じた。生光学園高に入った。3月末から練習に加わり、中学時代から重さが1.5倍となった一般規格(4キ)の砲丸で投げ方やフォームを調整している。練習では昨年のインターハイで予選突破できる水準の12キ50をコンスタントに投げしており、さらなる飛躍に期待がかかる。

10キ台にとどまった。林英司監督の指導で次第に高く、遠くへ飛ばせるように。上体のひねりによって生じる力を鉄球に伝える力に秀でる。3月に鳴門市であった投てき記録会では48キ70のビッグスロー。日本中学記録(45キ77)を3キ近く更新した。「無我夢中だった。どう投げたかは覚えていないが、投げた直後に周囲がざわついていたのは覚えていて」と笑う。48キ70は昨年の四国高校総体では6位に相当。インターハイ出場を視野に、回転動作の確認に力を注いでいる。

地元のインターハイに向けて山口は「予選を通過して決勝に進みたい。高校3年間で優勝できるレベルの選手になる」。木村は「試合を通じて技術を高めていければ。全力で楽しみたい」。林監督は「インターハイまでどれだけ調整できるかが鍵だが、1年生でも活躍できる素質は備えている。大きな花を咲かせてほしい」と期待している。(富士佳輝)